

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス キッズホームヤマニ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月3日	～	令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	対象者数：14		回答者数：13
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日	～	令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	対象者数：5		回答者数：5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達段階や個々のニーズに合わせて5領域にまたがる療育プログラムを提供している。	日々のプログラムを通じて、子どもたちが日常生活や社会で自立できる力を育てる支援を行っている。	保護者との連携・場の価値向上
2	「居場所」と「社会経験」を作る取組をしている。	活動や遊びを通して、社会性・協調性・自己決定力の醸成を意図した支援を行っている。	日常生活に沿った活動を組み合わせ、子どもたちの生活リズム・対人関係スキルの向上を図る。
3	地域に根ざした立地と利用しやすさ	いわき駅周辺という立地を活かし、通いやすさ、送迎サービスありなど、保護者の利用負担を軽減する工夫をしている。	協働活動・社会連携の強化

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の属人化	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の職員に支援が依存している。 ・ケース記録の質や量にばらつきがある。 ・支援方針の共有が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「忙しい」を理由にしない仕組み作り ・短時間・小単位で実施できる仕組みにする。
2	安全管理に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降口から駐車場へ走り出す児童への対応 ・不審者対応・災害時の動きが職員ごと異なる。 ・BCPや訓練が「実施しただけ」になりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の再確認 ・「どんな子どもに育ってほしいか」「地域でどう評価されたいか」を職員で言語化する。
3	保護者との情報共有の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援のねらいが伝わりにくい。 ・食育や手作りおやつ在意図が十分に共有されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援を強化する。 ・保護者学習会への参加促進 ・家庭でできる支援カードの配布